

大学はチャレンジする場所

新しい産業革命が始まろうとしています。産業革命を歴史的にみますと、その期間および次までの間隔がだんだん短くなっていることに気付きます。短くなり過ぎて、とうとう技術革新が連続的に出現する「連続産業革命」という時代に突入しているのです。

何故そうなったのか？インターネットの出現が大きな要因と考えています。世界の知性がつながり、刺激し合う「集団的知性」とも呼ぶべき状態が出現しています。

その状況下で天才的なイノベーションを行う人、「集合天才」が爆発的に増えているのが現状だと思います（「集団的知性」、「集合天才」は『新たなルネサンス時代をどう生きるか』イアン・ゴールドイン著から引用した言葉）。そのため、急激に物事が変化しています。

急激に変化する先の読めない社会においては、皆にチャンスがあります。一方、何もしないと取り残されます。チャレンジすることが大切だと考えています。この大学で、失敗する勇気を持って、いろいろなことにチャレンジしてみませんか。成功体験だけでなく、失敗体験からも学ぶことは多く、得難い経験となります。

おわりに、ルネサンス時代の天才、ミケランジェロの言葉を紹介します。「ほとんどの人にとって大きな危険は、高すぎる目標に届かないことではなく、低すぎる目標を達成してしまうことだ」。高い目標を持って本学に入学し、いろいろなことにチャレンジしてください。

公立諏訪東京理科大学 学長
小越 澄雄